

柳田國男の民間伝承学構想

柳田國男は元来文化人類学者であり、雑誌を媒介として地方の民俗資料を集め各地の研究者を養成しながら日本を研究の対象とした。民俗資料学と民族学を結合した民間伝承学を構想しながら、民俗学の側にまわったのは戦後の米国による人文科学の再編において彼が守りたかった研究資源のためであった。本発表では柳田が構想していた民間伝承学から今日の人類的文化資源学を考えてみたい。

講師: 稲村 務

1999年筑波大学博士課程歴史・人類学研究科文化人類学専攻後期課程退学。論文博士(学術)(東北大学)。専攻は文化人類学、社会人類学、中国・東南アジア地域研究。現在、琉球大学大学院人文社会科学部研究科教授。

コメンテーター: 及川 高(南島文化研究所・所員)

司会: 比嘉 理麻(南島文化研究所・所員)

日時: 2019年5月20日(月)16:20~17:50

場所: 沖縄国際大学 13号館 1階会議室

※ 入場無料・事前申込不要

問い合わせ先:

沖縄国際大学 南島文化研究所 098-893-7967 nanchr@okiu.ac.jp